

# NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

## ORMZ ニュース第73号 (H29.8.30)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール [info@ormz.or.jp](mailto:info@ormz.or.jp)) 文責：日高良雄



**はじめに** 8月も終わりですね。宮崎では連日猛暑が続いていますが、関東から東北にかけては雨が多く、また豪雨災害が起こっている地域もあるようで心配しています。被害に遭われた皆様には心からお見舞い申し上げます。

今回のニュースは、JICA 基金事業の報告と巡回診療の状況、巡回診療に参加された上原さんからの報告をご報告します。

### 会の経過報告

- ・8月10日付けで JICA (国際協力機構) から、「ルアノ地区でのマラリア蚊殺虫噴霧事業」委託契約の検査及び経費確定の連絡が届きました。早速、下記に記載しております報告書を提出しました。
- ・8月24日、内閣府から「平成29年度特定非営利活動法人に関する実態調査」調査票が届き、回答しました。
- ・8月28日、三重県四日市市の四日市東ロータリークラブで「ザンビア医療支援活動報告講演会」が開催され、山元香代子先生が200名を超える参加者の皆さんに活動報告を行ってきました。参加者の皆さんが、「うわー、すごい！」などと感動されたようです。四日市東ロータリークラブの皆さんに感謝申し上げます。

### 助会費納入及びご寄附のお願い

- ・認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会の事業は、皆様からの賛助会費並びにご寄附により運営されています。賛助会費は個人一口 5000 円、団体一口 10000 円からとなっており、ご寄附につきましては金額を問いません。
- ・郵便局まで足を運んでいただくというお手間をおかけしますが、ご協力のほどなにとぞよろしくお願い致します。入金を確認しました際には、日高から御礼のメールを差し上げます。また当法人は認定 NPO 法人であり、ご寄付 (賛助会費含む) いただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書 (賛助会費も寄附金と同様税控除の対象) をお届けしますので、確定申告の際まで大切に保管しておいてください。ご不明の点は日高 ([info@ormz.or.jp](mailto:info@ormz.or.jp)) までご連絡ください。

★ 郵ちょ銀行からの振替 口座記号 01720-9 口座番号 126351

加入者名 : NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★ 他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351

加入者名 : NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称 (全角) : トクヒ) ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

### 現地活動報告 ルアノ地区でのマラリア蚊殺虫剤噴霧活動

2017年4月13日にチサンバ郡郡保健局に活動実施のための承認と、噴霧器4台を借りる許可を受けた。その際、以前推奨された殺虫剤レスコルではなく、アクテリック 300CS がより毒性が少なく6カ月間効果が期待できると説明を受けた。

そのため郡保健局から支給されるアクテリックを使用することとし、昨年購入したレスコルは郡保健局に提供することとなった。なお、郡保健局からアクテリックの支給を受ける条件として、郡保健局が使用している記録用紙を用い、郡環境保健技術者が最終的に活動の監督をすることとなった。

4月17日、ルアノ地区の村長を含めたルアノ住民ボランティアとの話し合いを実施した。

2016年の噴霧に関して間違った情報が流れたことを踏まえ、今回は屋内の殺虫剤噴霧を実施する前に、屋内を空にし、噴霧後2時間(殺虫剤が変更になり3時間から2時間に短縮)は屋内に入れないことを住民に周知徹底するための役割分担や日程を決めた。ルアノ以外での噴霧の計画や、20日間のコミュニティヘルスワーカーの研修日程との調整により、4月21日と4月27日から5月2日は泊まり込みで実施する計画となった。

4月21日 サンダラ・サパニ地区で噴霧を実施。チサンバから雇い入れた噴霧実施の研修を受けた噴霧実施者2人、昨年の噴霧の際彼らから指導を受けた2人の住民ボランティア、スーパーバイザー2人の計6人で2組のチームを作り、2台のランドクルーザーに分乗。サンダラ地区に着く前に1台のランクルの前輪が外れ、全く動けず、1台でサパニ地区の35戸の噴霧を済ませルサカに戻った。動けなくなったランクルには3人を残し、野宿となった。22日にもう1人の運転手が壊れたスリーブハウジングの替えをルサカでみつけルアノに向かい、何とか修理できたが、帰り道もう1台のリーフスプリングのUボルトがはずれ、またしても修理。徹夜で徐行しながらルサカに到着したのは23日の昼過ぎだった。

車の修理を万全にして、4月27日から5月2日まで5泊6日で噴霧を実施。車両も大きな問題はなく、217軒 376戸の噴霧を実施できた。

マインガ地区のみ連絡が届いておらず、噴霧が実施できなかったため、5月15日にマインガや道路状況が悪く行くことのできなかったサンダラの数軒を含め、再度実施の予定とした。

5月15日に再度噴霧を実施。16家族30戸の噴霧を行った。車で相当の距離走ったが、ルアノの端と端で、あまり効率の良い噴霧活動ではなかった。

ルアノ全村と境界の村の264世帯、合計433戸に噴霧を実施した。噴霧できなかった34戸は鍵がかかっていて不在が主な理由で、明らかに噴霧を拒否されたのは2世帯であった。アクテリック300CSは合計127本使用した。

これまでの同時期と比べ、マラリア検査陽性率は明らかに減少している。今年は雨季に雨量が非常に多く、そういう年はマラリア患者数が減ると言われているが、これまでの経過をみるとマラリア検査陽性率の減少は噴霧活動の成果と考えてもいいのではないか。活動の成果か天候の影響かは今後とも経過をみないとわからないが、巡回診療が行われない間、地域でのマラリア検査を実施しているコミュニティヘルスワーカーによると明らかに減少しているとのこと。また、サンダラで実施している巡回診療では、ルサカ郡など噴霧を実施していないルアノ地区以外からの患者が多く受診するが、マラリア陽性率4月46/108(42.6%)、5月83/163(50.9%)、6月67/121(55.4%)と高く、噴霧の効果があると考えられる。

巡回診療とコミュニティヘルスワーカーの活動報告書からマラリア患者の動向を詳細にフォローしていく。噴霧の成果が認められれば、法人予算の許す範囲で毎年2回実施するとともにし、他地域でも計画していきたい。





## 現地活動報告（ザンビアより芦田様から）

### ◎8月2日サンダラ巡回診療報告

同行者： ムレタさん、デリックさん、チブリカさん、シバンダさん、ニョニさん、ギルバート&ダニエル（ボックス、レンタカー）、上原さん

CHW： コンスタンスさん、サンダラから3人

患者数：57人 主な症状：マラリア検査数57人中陽性13人、主な症状は咳、腰痛 重篤なケース： なし

\*蚊帳販売： なし

\*道路状況： 良くない。ギルバートや上原さんは、翌日の午前1時45分ルサカ到着

\*井戸の状況 ルアノのシェレニ： 31日にUNZAへ持っていったが、これまでの経緯から、すべてチェックしたほうがいいと言われ、全項目検査実施になる。結果はメールで送られてくる。

### ◎8月9日ルアノ巡回診療報告

同行者：ムレタさん、デリックさん、チブリカさん、シバンダさん、ギルバート（ボックス）

CHW：マチラさん、マーチンさん、バージニアさん、サンダラから3人

患者数：71人 主な症状：マラリア検査数71人うち陽性2人、主な症状は咳、目の問題、血尿 重篤なケース： なし

\*蚊帳販売： なし

\*道路状況： サンダラよりは相当良い

### ◎8月16日ニャンカンガ巡回診療報告

同行者： ムレタさん、デリックさん、チブリカさん、シバンダさん、ムワプラクリニックより1人

CHW： モーゼスさん、マチルダさん、エバリンさん

患者数： 87人 主な症状： マラリア検査数87人うち陽性4人、主な症状は咳 重篤なケース： 女性1名、腕の骨折疑いのためチョングウェヘリファー

\*蚊帳販売： なし

\*道路状況： 4waysからニャンカンガまでの道はかなり悪く、20キロ以下での運転を強いられる

### ◎8月23日ルアノ巡回診療報告

同行者： ムレタさん、デリックさん、チブリカさん、シバンダさん、ダニエル（ボックス）

CHW： マーティンさん、マチラさん、バージニアさん、コンスタンスさん、サンダラより2人

患者数： 54人 主な症状： マラリア検査数54人うち陽性4人、主な症状は咳、頭痛 重篤なケース： なし

\*蚊帳販売： 12個販売し、代金回収済み。

\*道路状況： 前回から変化なし

## 現地活動報告（上原さんからの報告）

山元香代子先生、お元気に日本でお過ごしでしょうか。今年の夏は格別に暑いと聞いています。

ご報告が遅くなりました。8月2日、ルアノのサンダラへ、移動診療所の皆さんと一緒にいくことができました。とても貴重な経験でした。ありがとうございました。

日本人であれだけの悪路を経験した人は少ないのではないかと思います。わたしはガタガタ道よりも砂埃のほうがこたえました。紙マスクを2枚持っていったので、マスクをつけたり、ダニエルさんに頼んで車間距離を取ってもらったりしました。途中からギルバートさんが車の前後を替わってくれました。それからはずっと快適でした。



現地ではカルテノートのピックアップやマラリアチェックの検査キットを開封していくを手伝いました。

スタッフの方々はとてもいいチームワークで仕事をされました。

女の人たちがおしゃれして来られていたのが印象的でした。トイレは全く問題ありませんでした。

帰り道、ダニエルさんの車の左後輪がパンクし、スペアタイヤも使えなかったため、皆テンボーさんの車で送ってもらいました。わたしが戻ったのは午前0時40分頃です。

残られたダニエルさんとMr. ムレタが無事に戻れたか気にかかっていたのですが、ギルバートさんが替えのタイヤを持って迎えに行き午前4時前にルサカに戻れたとのことでした。

皆さんお元気だそうです。わたしも、その日とその後とても元気になっています。

ギルバートさんの車でムタレ家に着いたとき、しばらく誰も出て来ず、申し訳ないことをしました。元ストリートチルドレンの若い男性が亡くなって、ジャスパーさんも含め多くの男性がコッパーベルトまで一泊で葬儀に行っていたためでした。

わたしは今、チョングエのカセンガというところに滞在しています。蛇口から井戸水が出ず、調理は炭でするような田舎です。小学校とセカンダリースクールがあります。10リットルの水と鍋一杯のお湯で入浴もやりました。やれるもんです。

2ヵ月余り、ありとあらゆる健康法を使って心身の健康を維持しています。今のところ、下痢もマラリアもきていませんが、これでいいのかと思うぐらい、食器洗いなど難しい場所です。でも景色が素晴らしく、人との関わりが気持ち良く、ここでの暮らしも楽しいです。

ザンビア生活、やっぱり3ヵ月では足りないなあと思っています。暇な時間がなくて不思議な気持ちになります。

山元先生がこの村を見つけてくれたんです。ここに山元先生が井戸を作ってくれたんです。

(日本以外の国からの支援は?) 入っていないです。

と、村の人たちから先生のことを聞きました。

長きにわたる活動に、頭がさがります。このような機会を作っていただき、本当にありがとうございました。お身体を大切に、どうぞこれからもお元気でご活躍ください。お礼まで。

上原桂子(ザンビアの孤児院でボランティアをされている方です)

以上

平成29年もORMZへのご支援のほど、どうぞよろしく申し上げます

